

# 衆議院外務委員会ニュース

【第204回国会】令和3年5月12日（水）、第12回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

・茂木外務大臣、中山防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）松島みどり君（自民）、黄川田仁志君（自民）、佐藤茂樹君（公明）、渡辺周君（立民）、岡田克也君（立民）、穀田恵二君（共産）、浦野靖人君（維新）、山尾志桜里君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 松島みどり君（自民）

- （1） 2021年4月の外務省の総合職採用者（32人）のうち過半数（18人、56%）が女性であったことに関する茂木外務大臣の見解及び外務省で活躍する女性職員へのメッセージ
- （2） 新型コロナウイルス感染症対策
  - ア 在外邦人の帰国支援の経験をまとめた記録集を本年中かつ在外職員の不利益とならないよう作成する必要性
  - イ G7外務・開発大臣会合（5月3日～5日）におけるクルーズ船対策についての茂木外務大臣による問題提起の内容
  - ウ 在外公館の貸出金制度によって在外邦人の帰国のための費用を貸し出す必要性
  - エ 入国規制によって巡回検診が実施できていない公館数並びに入国規制によって巡回検診が実施できていない公館のうち不健康地に設置されている公館数及び当該公館に勤務する職員数

### 黄川田仁志君（自民）

- （1） 茂木外務大臣の欧州各国歴訪
  - ア G7外務・開発大臣会合（5月3日～5日）出席を含む外遊の成果
  - イ 欧州の中国に対する警戒度についての茂木外務大臣の評価
- （2） 台湾のWHO総会参加実現に向けた我が国の対応策
- （3） 中国に対してより厳しいCO2削減目標を迫る必要性

### 佐藤茂樹君（公明）

- （1） 茂木外務大臣の欧州歴訪
  - ア 自由で開かれたインド太平洋に関する欧州諸国の認識を深めるという訪問の目的に対する成果
  - イ G7の意義及びG7外務・開発大臣会合の成果
- （2） COVAXワクチン・サミット共催国である我が国によるAMC（途上国支援枠組み）に対する増額拠出の必要性
- （3） ミャンマー情勢
  - ア ASEAN諸国と連携して事態の收拾を図るための努力をすべきとの考えに対する茂木外務大臣の見解
  - イ ASEANリーダーズ・ミーティング（4月24日）に対する茂木外務大臣の評価

### 渡辺周君（立民）

- （1） ミャンマー情勢
  - ア ミャンマーの軍事政権が民主化勢力である連邦議会代表委員会、国民統一政府及び国民防衛隊を

- テロ組織に指定したことについての政府の見解
- イ ミャンマーにおける状況を改善するために我が国が果たすべき役割についての茂木外務大臣の見解
- ウ ミャンマーで拘束されている邦人ジャーナリストの現状及び身柄の安全や早期釈放のための政府による取組
- (2) 東京オリンピック・パラリンピック
  - ア バッハ会長の来日が見送られた理由
  - イ バッハ会長の来日時期と緊急事態宣言解除の関係性
  - ウ 代表団への新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の開始時期
  - エ 代表団へのワクチン接種を早期に行うべきとの考えに対する政府の見解
  - オ 東京大会への参加に伴い訪日するアスリート及びアスリート以外の大会関係者の人数の見込み
  - カ 事前キャンプ地及びホストタウンにおける交流事業の変更の有無及び交流事業の受入れ等を取り下げた自治体の数
  - キ 事前キャンプ地及びホストタウンにおいて受け入れた選手等の新型コロナウイルスへの感染が判明した場合の対応
  - ク 選手等を受け入れた地域の医療体制強化のための政府による自治体への支援
  - ケ 事前キャンプ及びホストタウン事業についての茂木外務大臣の所見

**岡田克也君（立民）**

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック開催中における新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた政府の取組方針
- (2) 北方領土問題
  - ア 菅総理大臣が今国会の施政方針演説において引き継ぐと言及した 2018 年のシンガポールでの首脳会談でのやり取りにおけるシンガポール合意以外の内容
  - イ 施政方針演説で言及したシンガポールでの首脳会談でのやり取りについて政府が説明する必要性
  - ウ 領土問題を四島の帰属に関する問題であると位置付けた「東京宣言」（1993 年 10 月署名）を基礎にすると言及の無いシンガポール合意では領土問題の解決が合意から落ちているという考えに対する茂木外務大臣の見解
  - エ 「東京宣言」の意義
  - オ 日露間に領土問題は存在しないと主張するロシアに対して、「東京宣言」を基礎にして交渉を進めるべきであるとの考えに対する茂木外務大臣の見解
  - カ 交渉の進展の見通し
  - キ ラブロフ外相との間で領土問題の交渉が行われていることの確認
  - ク 領土問題の存在を認めない相手との交渉方法
  - ケ 領土問題の存在をロシア側に認めさせることが交渉の第一目標である考えについての茂木外務大臣の見解

**穀田恵二君（共産）**

- (1) バーガー米海兵隊総司令官による茂木外務大臣表敬（2020 年 11 月 18 日）
  - ア バーガー米海兵隊総司令官の米海兵隊の再編についての発言の有無
  - イ バーガー米海兵隊総司令官が述べた脅威の具体的な内容
  - ウ 作戦即応性及び抑止力の協力調整について話し合われた具体的な内容
- (2) 米海兵隊の再編
  - ア 米軍の新たな作戦構想である「遠征前進基地作戦（EABO）」の内容

- イ 参議院外交防衛委員会（2020年11月19日）において防衛省の岡防衛政策局長がEABOについて説明した内容の確認
- ウ EABOにおいて第一列島線上にある島々を活用する可能性
- エ 米国の島嶼要塞構想についての政府の認識
- オ 南西諸島地域における自衛隊の部隊配置計画と島嶼要塞構想との関係

**浦野靖人君（維新）**

- (1) 中国外務報道官による我が国のALPS処理水の海洋放出方針を揶揄する投稿への我が国の抗議に対する中国の反応
- (2) ミャンマーにおいて拘束された邦人ジャーナリストの解放に向けた政府の取組
- (3) 慰安婦関係調査結果発表に関する河野内閣官房長官談話（1993年5月23日）
  - ア 現在政府が使用しないと決定している「従軍慰安婦」の文言が使用されている同談話が外務省ウェブサイトに掲載されていることの是非
  - イ 「いわゆる従軍慰安婦」と「慰安婦」の英訳
  - ウ それぞれの英訳の使用時期
  - エ 同談話の法的位置付け
  - オ 同談話の記者会見において河野官房長官が強制性を認める発言をしていたことに対する政府の見解

**山尾志桜里君（国民）**

- (1) ジェノサイド条約
  - ア 外務省内での批准に向けた動きの有無
  - イ 批准の要否についての茂木外務大臣の認識
  - ウ 国際組織犯罪防止条約締結のために創設されたテロ等準備罪での検察送致及び起訴の件数
  - エ テロ等準備罪の疑いにより捜査が行われた件数
  - オ ジェノサイド条約批准国のうち留保を付した国数及び留保の内容
  - カ 国際司法裁判所が示した留保の許容性に関する「両立性の基準」の内容
  - キ ジェノサイド条約における留保に関する規定
  - ク 「扇動」等犯行態様の一部の留保の許容性についての外務省の見解
  - ケ 犯行態様の一部を留保して批准することを検討する必要性
- (2) 新疆ウイグル自治区の人権の問題について調査し、我が国の立場を表明する必要性

- 2 原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第8号）  
 大西洋のまぐろ類の保存のための国際条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第9号）  
 国際航路標識機関条約の締結について承認を求めるの件（条約第10号）  
 ・茂木外務大臣から趣旨の説明を聴取しました。